

解脱選拔少年劍道鍊成大会



市長杯と金剛杯を争奪しての大会は白熱した内容となり、主催大会優勝を目指し中学3年生を中心に厳しい稽古にも耐え、チーム一丸となり試合に臨みましたが、解脱Dチームが惜しくも予選敗退、Cチームが決勝トーナメント1回戦敗退、Bチームが準々決勝敗退で敢闘賞、残すは解脱Aとなり接戦をものにし決勝進出。対するは、2年連続優勝を目指す、全国屈指のいばらき少年剣友会との対戦となりました。先手を奪われ、追う展開となりましたが小学6年生で追いつき1勝1敗、中学生勝負となり、一進一退の手に汗握る攻防が続きましたが残念ながら惜敗し、いばらき少年剣友会が2年連続2回目の栄冠を勝ち取りました。今回子供達は、改めて勝負の厳しさを学んだ事と思います。この経験を活かし、更なる成長を期待しています。最後に大会会長である、岡野理事長をはじめ役員の皆様方、また大会運営に協力を頂いた後援会の皆様のご指導、ご協力を頂き無事に大会を終了する事ができましたこと心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

Aチーム 内村・栗原・若松・鈴木・泉・伊藤・長峰
Bチーム 大西・谷口・林・新井・土肥・新井・大谷
Cチーム 新井・小嶋・野添・大泉・内村・谷口・永野
Dチーム 大泉・矢部・鈴木・小林・新井・小林・泉



行 事 予 定

《11月》

○ 館の行事

※稽古休み 23日(金・祝) 勤労感謝の日
27日(火)・28日(水) 解脱会行事の為

一般部特別稽古会

11月 3日(土) 16時～17時

11月23日(金) 16時～17時

11月24日(土) 16時～17時

11月25日(日) 10時～11時

※秋の審査会に向けて頑張りましょう！

○ 大会・審査会

1日 埼玉連月例稽古会(県立武道館)

3日 第60回全日本剣道選手権大会(日本武道館)

7日・8日 平成24年度中学校剣道新人大会(団体、個人・県立武道館)

15日 女子剣道講習会(一般・県立武道館)

17日 第57回埼玉県剣道大会(一般・県立武道館)

17日・18日 七段、六段審査会(名古屋)

18日 第10回桶川べに花杯剣道大会(小中代表・桶川サンアリーナ)

25日 四段、五段審査会(県立武道館)

26日～29日 審査会 六段26日、七段27日、八段28日・29日(東京)

○ 受入行事

27日 全国支部長会(解脱会)

28日 第132回解脱金剛御生誕祭(解脱会)

《12月》

○ 館の行事

9日 道場大掃除(午前9時～11時半)

16日 稽古納め(全門下生・午前9時～10時半)

※稽古休み＝ 1日(土)一般部稽古休み(受入行事の為)

○ 大会・審査会

6日 埼玉連月例稽古会(県立武道館)

9日 第22回つくば市剣道大会(小中代表・つくば市)

15日 第39回関東少年剣道錬成大会(小学生代表・小山)

○ 受入行事

1日～2日 埼玉県審議員審査員研究会(埼玉連)

☆みんなの広場☆

主催大会写真特集



OB門下生大活躍！

第67回国民体育大会・剣道の部

少年男子 準優勝

次鋒 田中和弥（本庄第一・3年）

副将 泉 和毅（本庄第一・3年）



（9月30日～10月2日・岐阜県関市）



本年岐阜県関市で開催されました第67回国民体育大会において、埼玉県が少年男子・準優勝、同じく少年女子も準優勝と快挙を成し遂げました。少年男子の部に錬心館OB門下生2名が選ばれ、激戦区、関東ブロック予選を優勝し本大会に出場。さらに田中館長も全日本剣道連盟から委嘱され審判員として参加されました。大会では厳しい接戦をものにし勝ち進み、決勝戦で福岡県に惜敗をしましたが見事、堂々の準優勝という、春の全国選抜大会に続く素晴らしい結果を残しました。おめでとうございます！



第10回埼玉県剣道大会・小学生の部

期日 10月28日（日）場所 県立武道館

個人戦 6年の部 第3位 鈴木悠誠

5年の部 準優勝 谷口美月

4年の部 準優勝 内村日向

第3位 大西 尊

3年の部 第3位 済藤心楓



《剣道体験教室のお知らせ》

11月17日(土) 14時～15時

たいけんする・ぞう～
剣道する・ぞう～
仲間ふやす・ぞう～
おかしもらえるぞう

仲間を増やすには、やはりお母さん方の紹介が一番です！。
ぜひ「体験教室参加しませんか・一度道場に見学に行きませんか」
とお声がけ下さい。

～ お 知 ら せ ～

☆昇段おめでとうございます-----

3 段 新井恭子 (一般)
2 段 後藤大和 (中3)
初 段 岡部寿江 (一般)



—平成24年11月21日取得分—

☆入門おめでとうございます-----

小2・大谷将巳、年長・大谷舞翔
※6月5日入門、掲載が遅くなりすみませんでした。
一般・栗原真沙美 (10月3日入門)

☆大会通信-----

9月

★わらび剣友会親善剣道大会



低学年の部 優勝 大西・大泉・新井・矢部・内村
高学年の部 優勝 栗原・若松・新井・林・鈴木
準優勝 野添・谷口・小林・小嶋・大泉
中学生の部 準優勝 泉・新井・伊藤

★全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

小学生の部 埼玉県チーム 先鋒 鈴木悠誠
中学生の部 埼玉県チーム 中堅 伊藤勇太
大将 長峰龍汰

10月

★全日本道場対抗剣道大会



解脱チーム 鈴木・長峰・田中・吉田・米山

★中学生地区予選

男子団体 優勝 北本中 (県大会出場)
泉・土肥・新井・谷口・伊藤・若松・内村
男子個人 優勝 伊藤勇太 (県大会出場)
第3位 新井康平 (県大会出場)
県大会出場 谷口・扇谷・泉・土肥
女子団体 準優勝 北本中 (県大会出場)
新井怜・安達・新井千・小林
女子個人 準優勝 小林洋菜 (県大会出場)
第3位 安達夏美 (県大会出場)
県大会出場 新井怜・新井千

編 集 後 記

先日の主催大会、試合の結果は惜しくも準優勝！子供達はよく頑張りました。一般部・後援会の皆様、早朝からの御協力ありがとうございました。(Y)

けん おし 剣の教え 75

～ われいがいみなしなり 我以外皆師也 ～

館 長 田中 宏明

まさか！

◆平成12年から平成20年までの8年間に剣の教え～我以外皆師也～として1～52まで書かせて頂き、御霊地局長と兼務を命じられた21年から宮原先生にバトンタッチして、やっと役目が終わったと安心してきっていたのだが、宮原先生の「まさか」の異動で四年ぶりに又、書かせて頂くことになった。「まさか」という坂を登りきれんかは分かりませんが、また前回同様、その時々思ったまま、感じたままを綴っていきたくと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

残 心

◆今夏はスポーツの祭典、ロンドンオリンピックで大いに賑わったが、よく剣道はスポーツか武道かと問われることがある。それぞれの価値観や考え方があるので、その判断は個々にお任せするが、あえて違いをあげるなら、それは剣道には「残心」という教えがあることだと思う。試合規則第27条に試合者に不適切な行為があった場合は主審が有効打突の宣告をした後でも、審判員は合議の上その宣告を取り消すことができる。とあり、判り易く言うと試合で有効打突を決めて勝った瞬間にガッツポーズをしたら、その一本が取り消しになる。野球に例えると甲子園の決勝戦、九回裏の場面で打者がサヨナラ満塁ホームランを打ってその瞬間思わずガッツポーズをしたら、それが取り消しになるということだ。こんな規則がオリンピックに取り入れられたら大変な事だ。殆どの選手の勝利が取り消しになってしまう。◆決してそれが悪い事だと言っているのではない。ただ、剣道はしてはいけない、しないという事実を言っているだけだ。「残心」とは打突した後でも油断しない、次に備える。という意味で使われるが同時に相手に対する礼節を意味する。勝利が決まった後に、敗者の前で更に勝ち誇るような行為は、剣道では厳しく咎められる。それが武士道であり、剣道の目指す人間形成の道であるからだ。◆オリンピックでの、極限まで鍛え上げられた各選手の技術、体力、その精神力に深い敬意と感動を抱きながら、スポーツであれ武道であれ、それを高め深め価値あるものにしていくのは自分自身の学び方、取り組み方次第であることを、改めて再確認させてもらった。◆我が解脱錬心館も、剣道の特性を大切にしつつ、お互いに鍛え磨き合い、励まし合いながら、厳しい中にも和気藹藹と人間形成の道に精進していきたいと心から願うものだ。